

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	緑キッズ東松山		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 23日		2025年 2月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2026年 1月 23日		2026年 2月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訓練室のスペースが広く、活動をしやすい空間である。	広さを利用し、空間を2つに分けて活動することもある。	広い空間を利用し、色々な活動に取り組めるようにアイデアを考えていきたい。
2	外出する機会が多くあり、社会参加を通して、体験や経験から個々の活動内容を設定している。	事前の環境設定をし、その子に合わせた支援を意識している。	活動の様子など、写真や動画などで保護者様に様子を見ていただく時間を作って行きたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流が出来ていない。	他の施設や近隣の施設との交流や地域での交流機会の情報収集にしていきたい。	保護者様も一緒に交流できる機会を考えていきたい。
2			
3			

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	縁キッズ東松山		公表日		2026/2/27	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	訓練室は広く確保されていて、活動も工夫しながら出来ている。	個別の部屋の確保が難しく、確保できるように取り組んでいきたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	人員配置は利用者様の事を考えながら配置を考えています。	お休みが重なると配置が難しくなる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	段差はなく、過ごしやすい空間になっている。	トイレが狭く、工夫できるといい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	毎日清掃・消毒は行っている。	掃除は感染対策も含めてごまめな消毒を心掛けて行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	4	個別の部屋の確保が難しい。	全体で支援する部屋は広いが、個別の部屋の確保が難しいので、支援の工夫が必要である。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	0	ミーティングや朝礼などで目標・振り返りを行っている。	パートさんにも細かく情報共有が出来るように時間を作る。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	評価表に基に改善をしている。	今後も継続していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	毎週のミーティングや朝礼などで、意見等を把握する機会を設けている。	今後も継続していく。パートさんにも時間を作っていきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	6	外部評価は出来ていない。	出来ていないので、出来るようにしていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1	本社のスケジュールの義務化された研修は事業所内で随時行っている。パートさんにもなるべく参加して頂いている。	外部研修も積極的に参加していきたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	ホームページに公表されている。	年に1回見直しをして、公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0	年2回の保護者面談を行い、アセスメントも行っている。	今後も継続し、職員間でも共有が出来るようにする。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	ミーティングや朝礼などで子どもたちの様子を伝えながら共有している。	パートさんにも細かく情報共有が出来るように時間を作る。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	定期的な支援会議を行い、共有が出来るようにしている。	兼務のパートさんにも共有できるように時間を取っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	インフォーマルアセスメントは行っている。	専門職員の配置がないので、フォーマルアセスメントが出来ていない。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	5領域を意識し、支援の内容を設定している。	今後も継続していき、保護者様から相談があれば対応していきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	日々日案を作成し、全体で共有し行っている。	日案の時間の確保が難しく、時間の工夫できればと思う。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	職員の個性を生かし、5領域を意識した活動内容を実施している。	マンネリ化しないように活動の工夫を心掛けていく。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	日々の子どもの状況をみながら工夫して支援している。	個別対応の部屋の確保が難しいので、工夫して行けたらと思う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	日々の日案者に説明・支援内容の共有を行っている。	時間差があるパートさんにも共有できるようにする。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	2	翌日に行っている。	緊急な場合や急ぎの事はその日に共有する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	2	振り返りを行い、子どもたちの様子を共有しながら支援を行っている。	時間がない時などは、翌日やミーティングなどで振り返りを行う。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	日々の振り返りをもとに、職員間で情報共有し、見直しを行っている。	随時、保護者様より相談があれば対応し、見直しをしていく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	児童発達支援管理責任者が出席している。	担当者会議
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	出来ている。	今後は医療機関とも連携が出来るように努力したい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	担当者会議などで情報共有が出来ている。	今後も継続して行き、関係機関との連携を図っていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	3	行っている。	今後も継続していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	5	機会がない。	今後は検討していきたいと思う。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	6	公園外出では機会がある。	保育所等に交流の機会が出来るように検討していきたいと思う。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	送迎時や面談などで共有が出来ている。	都度、ご相談があれば対応していく。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	4	出来ていない。	今後は保護者会などで、ペアレントトレーニングや情報提供ができる工夫をしていきたいと思う。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	契約時に説明をしている。	丁寧に分かりやすく説明を心掛けていく。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	面談やアセスメントをもとに確認する機会を設けている。	今後も継続して、より良い支援に繋げていく。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0	行っている。	継続して行っていく。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	送迎時や面談など電話などでも随時対応しアドバイズを行っている。	都度、ご相談があれば対応していく。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	0	保護者会を開催している。	時間が限られてしまい、ゆっくり交流する時間が少なく、今後は時間の工夫もしていきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	出来ている。	都度、ご相談があれば対応していく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0	毎月お便りは発行している。ブログは毎月更新している。	今後も継続していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	キャビネットに保管し、鍵もかけている。	今後も継続していく。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	ツールを活用しながら、出来る限り分かりやすく伝達している。	今後も丁寧な対応を心掛けていく。他にもツールなどがあれば情報収集していきたい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	5	出来ていない。	今後は情報収集をしていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1	ご家族とは出来ていない。	お便りなどで周知が出来るように工夫して行きたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	事業所内で研修を行っている。	避難訓練は年に2回行い、水害区域なので、図上訓練や職員間でも定期的に共有していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	0	行っている。	保護者様にも定期的に状況を確認していく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	指示書はないが、検査結果などはいただいている。	今後は保護者様に確認して、医師の指示書の対応があれば声掛けをして対応していきたい。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	行っている。	必要に応じて、研修訓練を行っていく。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1	お出かけする際には事前にお伝えしたり、送迎時にお伝えしている。	お便りなどで細かく周知が出来るように工夫して行きたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	1	行っている。	ミーティングなどで、今後も共有していく。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	研修を定期的に行っている。	外部研修も積極的に参加していきたい。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0	了解を得た上で、支援計画書に記載している。	身体拘束はなるべく避け、支援の方法を都度確認しながら支援をする。	